

世界に誇る環境主都まつえ～脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現を～

まつえ環境市民会議

令和8年9月

第41号

「まつえ環境市民会議」は、市民・事業者・行政が協力して身近な環境活動を実践するため、平成19年2月に設立された市民組織です。

まつえ環境市民会議4つの活動テーマ

自然環境の保全

- ✓ 水質保全
- ✓ 里山保全
- ✓ 自然とのふれあい
- ✓ 生物多様性の確保

ごみの減量

- ✓ 清掃活動
- ✓ ごみの減量・分別
- ✓ 食品ロス削減
- ✓ 脱プラスチック

地球温暖化防止

- ✓ 二酸化炭素の排出抑制・吸収促進
- ✓ 省エネ・再生可能エネルギーの推進

環境教育の推進

- ✓ 環境情報の提供
- ✓ 歴史・文化的な資源を活用したイベント・学習会の開催

2026松江水郷祭
早朝清掃

8月1日(土)、2日(日)に「2026松江水郷祭」が盛大に開催され、それぞれ翌日早朝に水郷祭の舞台となる湖岸周辺の清掃美化活動を行い、多くの会員に参加していただきました。全体でも今年は昨年を上回る参加者があったようです。

ごあいさつ

まつえ環境市民会議 代表 佐藤 尚士



昨年度の市民会議の活動を振り返りますと、ゴーヤ苗の配布から始まり、各種清掃活動や里山保全活動、街頭啓発活動など、市民会議が掲げる4つのテーマに沿った活動を行ってきました。特に「環境教育の推進」というテーマのもと行っております親子参加型の企画は、近年コロナ禍もあって参加者が減っていましたが、昨年度は全て定員以上の申し込みがあり抽選になるものもありました。コロナを完全に克服し、皆が以前のように活動的になってきたことを実感しております。

環境関連の大きなイベントとしては、環境フェスティバルに加えファーマーズマーケットを5回開催し、市役所のだんだんテラスを会場にしたイベントとして定着してきています。市役所の新庁舎が5月にグランドオープンし、だんだんテラスも大幅に拡大されていますので、より一層の活用を図り以前の

ような大きなイベントにしていきたいと考えています。

また、市民会議は約150の法人・団体会員に加入いただいておりますが、それぞれ様々な環境貢献活動を行ってられます。一例を挙げますと、大隆設計さんの堀川における城山の竹を使った水草対策試験の取組みで、そこで使った竹を同じ会員のもりふれ倶楽部さんの協力で竹炭にして総会時に会員の皆さんに配布させていただきました。こうした横の繋がりを意識してもらい、それぞれが取り組んでおられることに目を向けてもらえれば、活動の輪が更に拡大していくと思います。今後とも会員の皆さんと連携しながら活動を進めていきたいと考えておりますので、引き続きのご協力を宜しくお願いします。

会員募集中



環境問題について、一緒に考え活動してみませんか

会員拡大にご協力ください

申し込みは

〈事務局〉TEL.25-0881まで
申込書はまつえ環境市民会議ホームページからダウンロードできます。



年会費

個人会員1,000円/1口
団体会員2,000円/1口
法人会員3,000円/1口

振込先

山陰合同銀行松江市役所支店
(普通) 3608893
まつえ環境市民会議

「まつえ環境市民会議」は、みなさんの年会費で運営されます。

まつえ環境市民会議の活動に参加して
ポイントシールを集めよう!!

- 活動参加カードは、今後活動参加される際にお渡しします。

- 活動参加1回につきポイントシール1枚を配布しますので、カードに貼ってください。

- カードはシール5枚まで貼れ、カード1枚毎にマスクottキャラクターを使った賞品を差し上げます。



令和8年度 通常総会開催

と き 令和8年5月29日(金)
ところ 松江市民活動センター多目的ホール

令和8年度通常総会を、来賓に上定昭仁 松江市長を迎え会員85名の出席のもと開催し、令和7年度の事業報告と決算、令和8年度の事業計画と予算、役員体制がそれぞれ承認されました。

総会終了後の環境講演会においては、まつえ水素活用協議会での取組事例紹介として、島根電工株式会社の鳥屋孝之氏に「環境主都まつえの未来を灯す。松江産の水素で描くエネルギー循環」、カナデビア株式会社の林俊介氏に「バイオガスの水素利活用による脱炭素化への取組み～鳥取市の秋里下水終末処理場での実証実験～」と題して講演をしていただきました。



令和8年度 役員体制

※令和8年4月1日現在



〈代表〉

佐藤 尚士(松江建設業協会)

〈副代表〉

田中裕一郎(松江商工会議所)

万代 悦子(松江市連合婦人会)

原 成美(松江市公民館館長会)

田中 達也(島根県農業協同組合くまびき地区本部)

〈委員〉

石原 孝子(島根県地球温暖化防止活動推進員(松江地区))

林 繁幸(松江市町内会・自治会連合会)

佐藤 成興(山陰中央テレビジョン放送株式会社)

野田 真幹(NPO法人 もりふれ倶楽部)

渡邊 順一(松江市生活環境保全推進員)

栗原 大地(松江青年会議所)

松本 一郎(国立大学法人 島根大学)

藤井 礼子(くまびきエコクラブ)

角田 千年(松江市高齢者クラブ連合会)

吉岡 和男(松江森林組合)

〈会計監事〉

佐々木 護(松江商工会議所)

松尾 強(松江市津田公民館)

令和8年度 事業計画



テーマ	事業名	概要	備考
自然環境の保全	里山保全(竹林等の整備)	楽山公園内の若竹の伐採整備(筍ほりと交流会/もりふれ倶楽部共催)	5月2日(土)
	水質保全活動	楽山公園内遊歩道の景観改善と竹林整備、自然観察会	10月12日(月/祝) 12月19日(土) 1月17日(日)
	水質保全活動	宍道湖岸のヨシ刈り取り活動に参加	3月上旬
ごみの減量	宍道湖周辺の清掃活動	宍道湖・中海一斉の清掃活動に参加	6月14日(日)
	水郷祭での早朝清掃活動	水郷祭での早朝清掃活動	8月2日(日)・3日(月)
	海ごみゼロ大作戦 in 美保関町	海岸漂着ごみの回収活動と小学生の親子を対象とした海ごみ環境学習会を開催	8月29日(土)
	海岸漂着ごみ回収	古浦海岸に漂着したごみの回収活動を地元ボランティア団体と協力して実施	10月3日(土)
地球温暖化防止	ごみ減量と食品ロス削減の啓発活動	街頭啓発活動(イオン松江店)	12月12日(土)
	グリーンのカーテン運動	公共施設、事業所、市民へゴーヤ苗配布(16,000本)	5月20日(水)
	省エネチャレンジシートの取組み	グリーンカーテン フォトコンテスト	募集8～9月
	省エネチャレンジシートの取組み	夏休みに家庭で取り組む省エネチャレンジシートの実施(市内全小学4年生対象)	7～8月
	デコ活の啓発活動	街頭啓発活動(JR松江駅)	6月24日(水)
	エコドライブの啓発活動	啓発活動とエコドライブの疑似体験教室開催	11月8日(日)
	まつえファーマーズマーケットの開催	地球環境にやさしい循環型社会の実現に向けたイベント(松江市と共催)	5、6、7、9、10月
環境教育の推進	まつえ環境フェスティバルの開催	カーボンニュートラルの機運醸成のため参加型のイベントを開催(松江市と共催)	11月8日(日)
	親子で楽しむ宍道湖水遊び体験	宍道湖での手長エビ採り体験(宍道湖水環境改善協議会主催)	7月下旬
		宍道湖でのシジミ採り体験(//)	7月下旬
	国宝松江城から学ぶ環境学習会	千鳥のお堀水辺の生き物自然観察会(小学校児童と保護者)	9月下旬
		松江城探検ウォークラリー(//)	10月24日(土)
		電動堀川遊覧船エコツアー	11月下旬
	環境について楽しく学ぶ親子体験教室	小学生親子を対象として夏休み期間中に開催(省エネ学習と工作教室、リサイクルプラザ見学とワークショップ)	7月18日(土) 8月8日(土)
組織活動	環境講演会	環境講演会の開催	5月29日(金)
		まつえ水素活用協議会の開催	年2回程度
組織活動	組織強化の推進、情報発信	会員拡大とともに、会員の活動参加に向けた取り組みを強化 会報の定期的発行、ホームページ、フェイスブックなど多様な媒体を活用した情報発信(構成団体の活動情報も積極的に発信)	通 年

※最新の情報はホームページでご確認ください。

松江市内における水素利活用に関する調査・検討報告

7月27日（月）に第3回まつえ水素活用協議会が開催され、専門のコンサルタント会社に委託していた松江市内における水素利活用に関する調査及び検討業務についての報告が行われました。

その中で、前提となる「水素をつくる・受け入れる」という面について、これまで多く用いられてきている太陽光発電による方法ではなく、山口大学で取り組まれている塩分濃度差発電（浸透膜を用いて淡水と海水の塩分濃度差から発電）を用いた方法で、松江市でもクリーンセンター鹿島（下水処理施設）での実装実験の可能性があるのではないかと紹介されました。この方法は昼夜・天候に左右されにくく、地域特性も活かしたものとなっています。

その他、「はこぶ・ためる」という面で、山陰地方にはまだ未設置の水素ステーションの設置・運営には多額のコストを要すること、また「つかう」という面では、本市内でも独自の活用事例が出てきているものの更なる進展が必要であることなど、課題はたくさんありますが、今後も「まつえ水素活用協議会」を中心に行政・企業・関係機関が連携して取り組んでいくことになります。



Report

まつえ環境市民会議 法人・団体会員の 環境貢献活動のご紹介 07

「松江堀川における竹の利活用（水草対策試験と竹炭づくり）」 株式会社 大隆設計様

松江城山公園内の竹害、松江堀川の水草問題に対し、竹を利活用することで竹害対策と水草対策の2つの社会的課題の解決を試みました。

令和7年4月に“竹しば漬け（いかだ）”を設置し、水草繁茂抑制効果を確認するとともに、竹しば漬けを設置することによるビオトープ効果（水生生物の生息場の創出）も確認しました。

また、水草対策試験に使用した竹は、同じ市民会議会員のNPO法人もりふれ倶楽部さんと協働で竹炭にし、土壌改良材・調湿剤・消臭剤・水質浄化剤などの用途に利用しました。

➡今回、市民活動の中で実施可能な竹害対策、水草対策及び資源を循環的に利用し廃棄物を減らす「竹の利活用モデル」を実証しました。引き続きまつえ環境市民会議を通じた横のつながりも大切にしながら、城山公園や堀川の景観・環境改善に微力ながらも貢献していきたいと考えています。



竹しば漬けの設置状況



対照区（水草が繁茂）



竹しば漬けの下は水草が生えていない



まつえ環境市民会議との協働

最近の活動から

令和8年1月～7月

令和8年1月17日(土)

竹炭づくりと自然観察会(楽山公園)



令和8年3月13日(金)・14日(土)

宍道湖岸のヨシ刈り(宍道湖西岸なぎさ公園付近)



令和8年5月2日(土)

楽山公園竹林整備
(タケノコ掘りと交流会)



令和8年5月20日(水)

ゴーヤ苗の無料配布
(グリーンカーテン運動)



令和8年5月23日(土)

ファーマーズマーケット
(市役所だんだん(d)テラス)



令和8年6月14日(日)

中海・宍道湖一斉清掃



令和8年6月24日(水)

環境月間街頭啓発活動(JR松江駅)



令和8年7月18日(土)

環境について楽しく学ぶ親子体験教室
(省エネ学習とLED蓄電ライト工作教室)



令和8年7月27日(月)

第3回まつえ水素活用協議会
(タウンプラザ)



編集
後記

●最初の記事にした水郷祭早朝清掃について、参加者で西田千太郎旧居の取り組みに関わっている方から、今回参加者が増えたのは「ばけばけ効果」であり、市民の郷土愛が増しているためであるという話を聞き、観光客増の外的効果だけでなく、内的効果も確かにあるのかなと思いました。

●今年の環境フェスティバルは、5月にグランドオープンし更に広くなった市役所新庁舎のだんだん(d)テラスを会場に11月8日(日)に開催します。節目の30回目となり現在準備を進めているところですので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

